

令和3年6月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、令和3年度の当初予算の概要と令和2年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、本冊子は、令和3年3月31日現在の状況を基に調製しています。この状況に出納整理期間※の変動を加えることで、決算として確定します。決算の概要については、12月号で公表を予定しています。

※「出納整理期間」とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2か月間設けられているもの。

もくじ

1	令和3年度当初予算の概要	1
2	令和2年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	5
	・特別会計	7
3	令和2年度予算の使いみちと市税負担	9
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	10
5	企業会計の状況	11

1 令和3年度当初予算の概要

予算の特徴

新たな総合振興計画の計画初年度として、「上質な生活都市」、「東日本の中枢都市」を目指すための重点戦略事業や分野別事業等を着実に進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大による難局を乗り越え、さいたま市の新時代へ前進するための事業について予算を重点配分しています。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策
- ◆ さいたま市誕生20周年を契機に新たな未来を拓く取組
- ◆ 新しい時代に対応した行政運営とDXの推進

予算の総額

一般会計

福祉、教育、医療、道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。

福祉

土木

教育

など

当初予算額	(前年度)
6,118億円	(5,627億円)
対前年比	8.7%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額	(前年度)
3,189億円	(3,167億円)
対前年比	0.7%増

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額	(前年度)
1,250億円	(1,264億円)
対前年比	1.1%減

全会計合計

当初予算額	(前年度)
1兆557億円	(1兆58億円)
対前年比	5.0%増

主な事業

重点事業

新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策

予算額 182億9,790万円

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に係る検査を着実に実施するとともに、医療機関への支援を行い医療提供体制を確保するほか、市民に対するワクチン接種体制を整備し、速やかに予防接種を実施するなど感染症対策を迅速に進めます。

また、自然災害への対策として、近年の豪雨災害を踏まえた河川や排水路の改修などの治水対策を推進するとともに、災害情報を確実かつ迅速に伝達できるような情報伝達手段の多様化を図るほか、災害時の避難所機能の強化を図るため、学校体育館への空調機の設置を推進します。



ワクチン接種の運営訓練〔新型コロナウイルス感染症予防接種〕

さいたま市誕生20周年を契機に新たな未来を拓く取組

予算額 6億1,586万円

令和3年度は、さいたま市誕生20周年を迎えるとともに、新たな総合振興計画の計画初年度となり、さいたま市が新たな一歩を踏み出すこととなります。この20周年という節目の年を契機に、市民に対する市への愛着と誇りの醸成等を図るとともに、新たな総合振興計画の推進に当たっては「SDGs」、「スマートシティ」という視点を持って各分野の施策を実施することで、本市がはぐくんできた魅力や地域資源を更に生かし、未来に引き継ぐための持続可能な都市づくりを進めます。

また、開催が延期された東京2020大会について、大会の成功に向けて取り組むとともに、そのことを契機として国内外に本市の魅力を発信します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



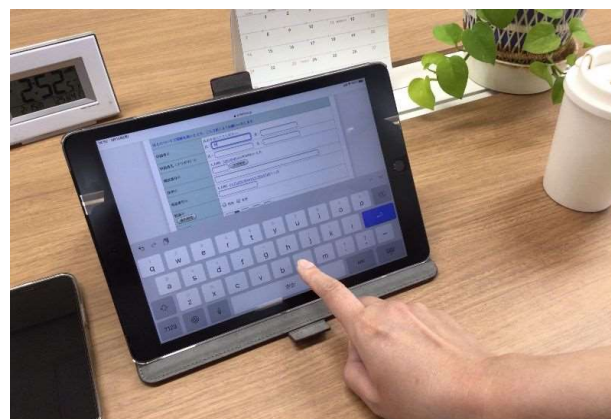
SDGsポスター

新しい時代に対応した行政運営とDXの推進

予算額 12億4,230万円

今後のポストコロナ時代を見据え、行政分野における制度・業務・手続などをデジタルを前提としたものに抜本的に見直す「デジタルファースト」な行政運営への転換を図り、行政手続の原則オンライン化、テレワークの推進、データの利活用による政策形成、AI、RPA等新たな技術を活用した業務効率化などに取り組むことで、市民サービスの向上や行政の生産性の向上を図ります。

また、コロナ禍により顕在化した市内企業のデジタル化の遅れやビジネスモデルの変革に対応するため、中小企業に対してAI・IoTなどの実装支援や新技術分野に対する人材育成支援など、企業のCX/DXを推進する取組を実施します。



窓口手続きのオンライン化

01

コミュニティ・人
権・多文化

自治会運営補助金交付事業

予算額 2億8,527万円

住み良い豊かな地域社会の形成に資することを目的として、自治会及び自治会連合会の運営に要する経費の一部を補助するとともに、さいたま市自治会連合会のホームページ運営を支援します。

国際交流の機会増加及び多文化共生意識の醸成

予算額 8,046万円

多言語生活相談や日本語教室、ボランティア養成講座、国際交流イベント等を実施します。

02

環境

スマートシティさいたまモデル推進事業

予算額 1億1,022万円

「公民+学」の連携・協力のもと、新たな生活支援サービスを提供するとともに、コミュニティ形成を促進しながら、スマートシティさいたまモデルを推進します。

見沼田圃の保全と新たな活用・創造の推進

予算額 6,309万円

「農・自然・歴史とふれあう、憩いのふるさと“みぬま”」を実現するために、見沼田圃基本計画次期アクションプランを策定し、(仮称)三崎広場を整備するとともに、情報発信力を強化します。

03

健康・スポーツ

健康マイレージ

予算額 1億4,446万円

ICTを活用し、楽しみながら継続的な運動習慣の獲得を図るため、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージを実施します。

「さいたまスポーツシューレ」活用推進事業

予算額 2,547万円

持続的で幅広いスポーツ振興に貢献する環境の実現に向け、民間力を最大限に活用した取組として、スポーツビジネス創出・活性化事業や、ICTを活用したスポーツ指導を実施します。

04

教育

グローバル・スタディの推進

予算額 6億6,936万円

グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒を育成するため、「グローバル・スタディ」を実施します。

児童生徒用コンピュータ整備事業

予算額 6億5,437万円

「GIGAスクール構想」により整備した児童生徒1人1台端末の効果を高めるため、適切な維持管理を行うとともに、新たに全ての市立中学校において大型提示装置を導入します。

05

生活安全

地域防犯活動等助成事業

予算額 3,274万円

自治会等に対し防犯活動や防犯カメラの設置に係る経費の一部を助成し、さいたま市防犯協会、さいたま市暴力排除推進協議会に対し、補助金を交付します。

交通安全教室事業

予算額 1,414万円

幼児・小学生・高齢者などを対象とし、交通マナーや交通ルールを実践的に学ぶ教室を開催します。

06

福祉

一般介護予防事業

予算額 1億4,436万円

高齢者自身が身近な場所で継続して運動を行うことができるよう介護予防の普及・啓発、ボランティアの育成を行う等、「地域づくりによる介護予防」を推進します。

シルバーポイント（長寿応援ポイント）事業

予算額 6,063万円

65歳以上の方が登録団体に健康づくり等の活動を行った場合にポイントが付与され、貯めたポイントを奨励金に交換できる事業を実施します。

07

子ども・子育て

特定教育・保育施設等の整備事業

予算額 26億8,744万円

多様な保育の受け皿確保のため、認可保育所等17施設、定員1,305人分の整備に要する費用の一部を補助するとともに、小規模保育事業等の連携施設の確保支援などを実施します。

保育人材確保対策事業

予算額 16億3,168万円

市内保育施設への就職支援を実施するほか、保育士の処遇改善や保育支援者配置等に係る経費を補助します。また、市外から就職する保育士の利用拡大等による宿舍借り上げ支援事業の補助を拡充します。

08

文化

市民会館おおみや新施設整備事業

予算額 99億9,739万円

大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業に伴い、文化会館機能、コミュニティ機能を備えた新市民会館おおみやを整備します。

国際芸術祭レガシー事業

予算額 963万円

さいたま国際芸術祭のレガシーとして、市民サポーターの活動支援、市民プロジェクト事業等を実施します。

09

都市
インフラ

幹線道路整備事業

予算額 89億9,282万円

都市活動を支える道路交通ネットワークを形成するため、都市計画道路等の幹線道路整備を効率的かつ効果的に推進します。

市街地再開発推進事業

予算額 39億9,844万円

浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業を推進するとともに、浦和西口停車場線等の整備を実施します。

10

防災・消防

排水路等改修事業

予算額 7億9,516万円

浸水被害の軽減、治水安全度の向上を図るため、市が管理する排水路等の整備を推進します。

油面川排水機場整備事業

予算額 4億6,526万円

油面川流域における浸水被害を軽減するため、令和4年に油面川排水機場を運用開始できるよう整備を推進します。

11

経済・産業

中小企業の生産性・付加価値向上を通じた成長促進支援

予算額 2億6,301万円

市内中小企業の持続的な成長に向け、経営基盤の強化と事業継続力の向上の総合的な支援及びC X / D Xの推進による生産性と付加価値向上支援を実施します。

企業立地の促進

予算額 2億3,482万円

本市の優位性を生かした企業誘致活動や官民連携による新たな産業集積拠点の創出に向けた権利者組織の支援及び関係機関協議等を実施します。

12

市民協働・公民連携、
高品質経営市役所

スマートフォン決済の導入

予算額 669万円

納税者の更なる利便性向上と接触機会の低減を図るため、新たに市税の納付にスマートフォンアプリを利用したキャッシュレス決済を導入します。

Park-PFI等公民連携による
公園のにぎわい創出

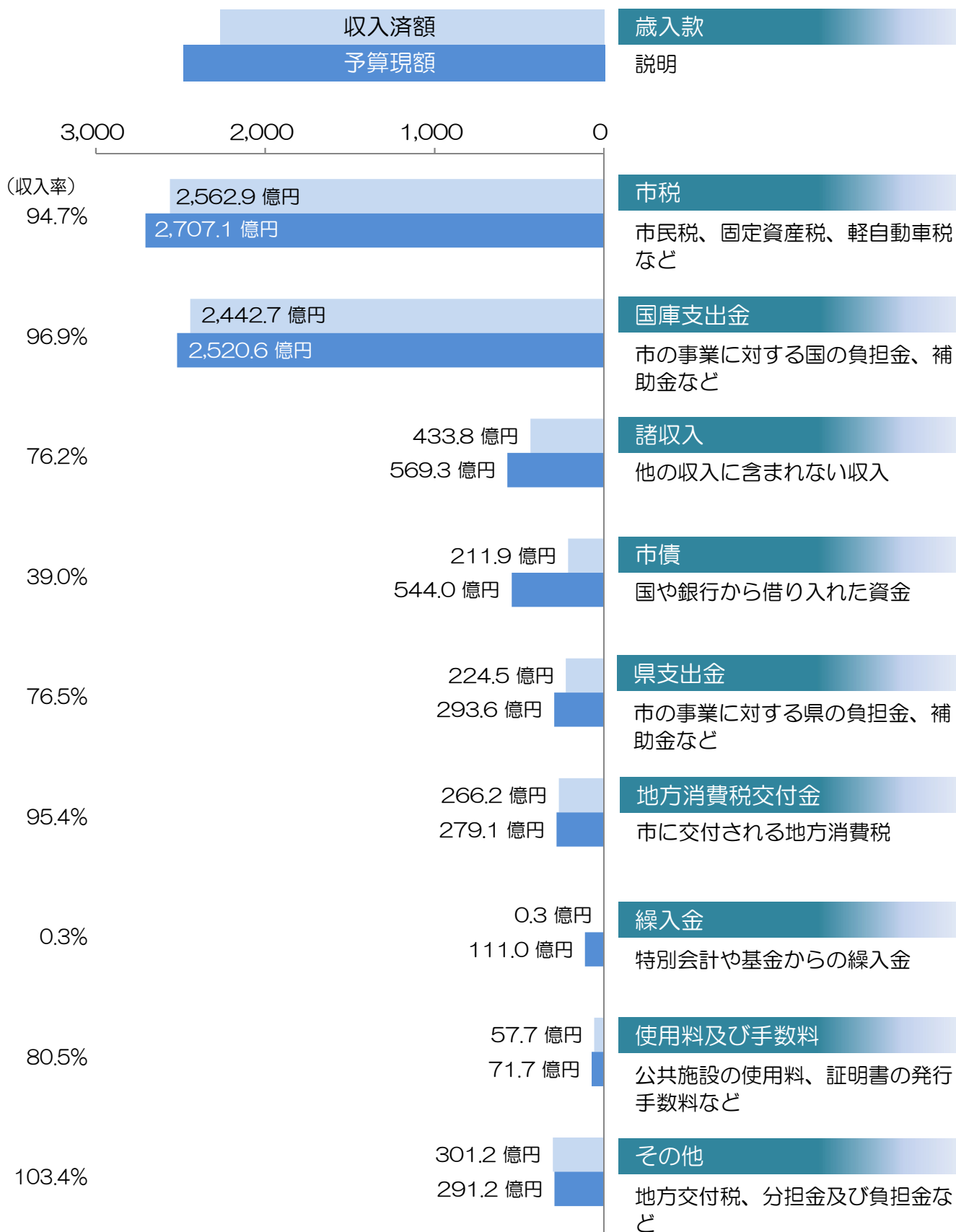
予算額 431万円

公園のにぎわい創出、魅力の向上を図るため、公募設置管理制度(Park-PFI)やネーミングライツの活用など、公民連携事業を推進します。

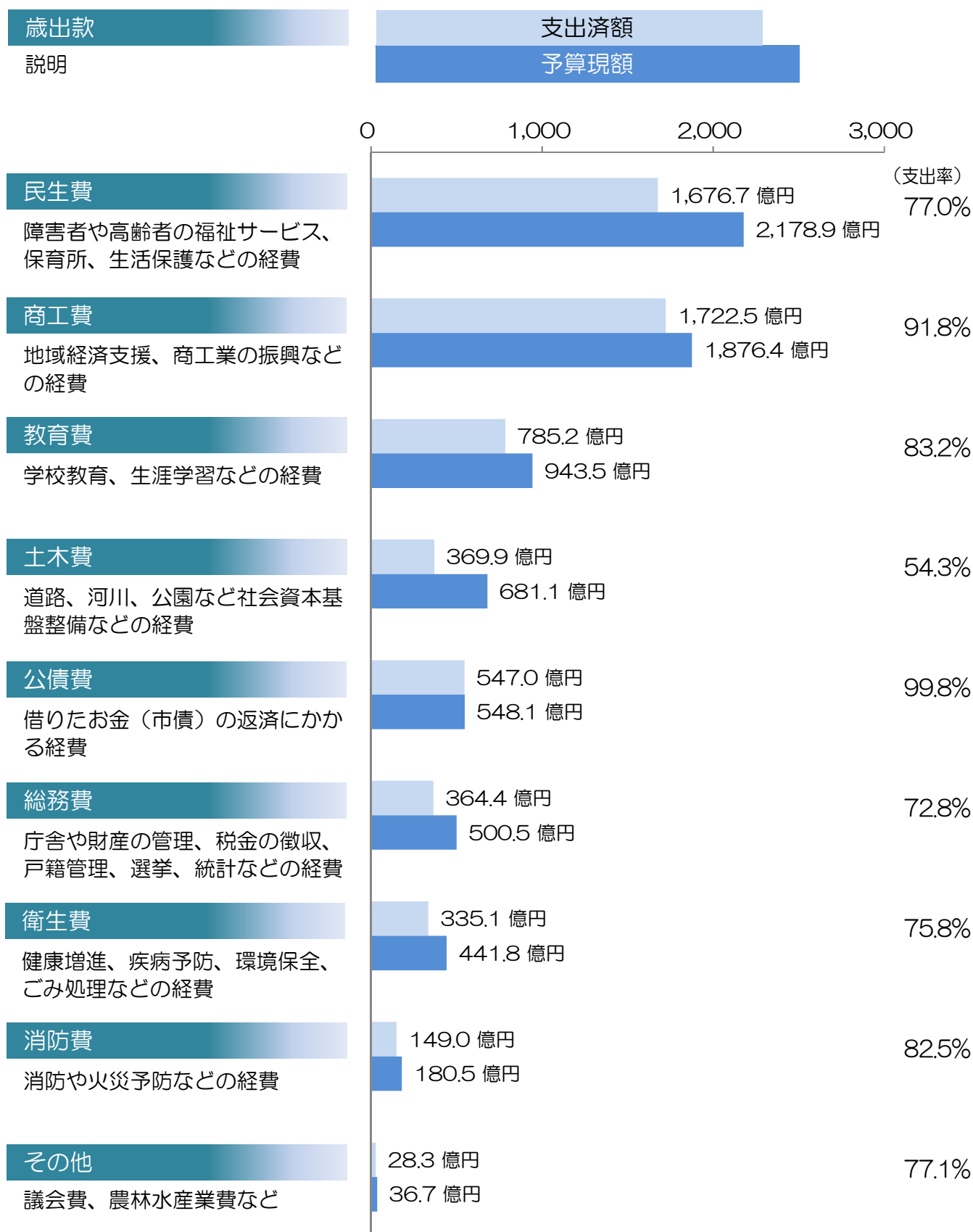
2 令和2年度歳入歳出予算の執行状況

一般会計

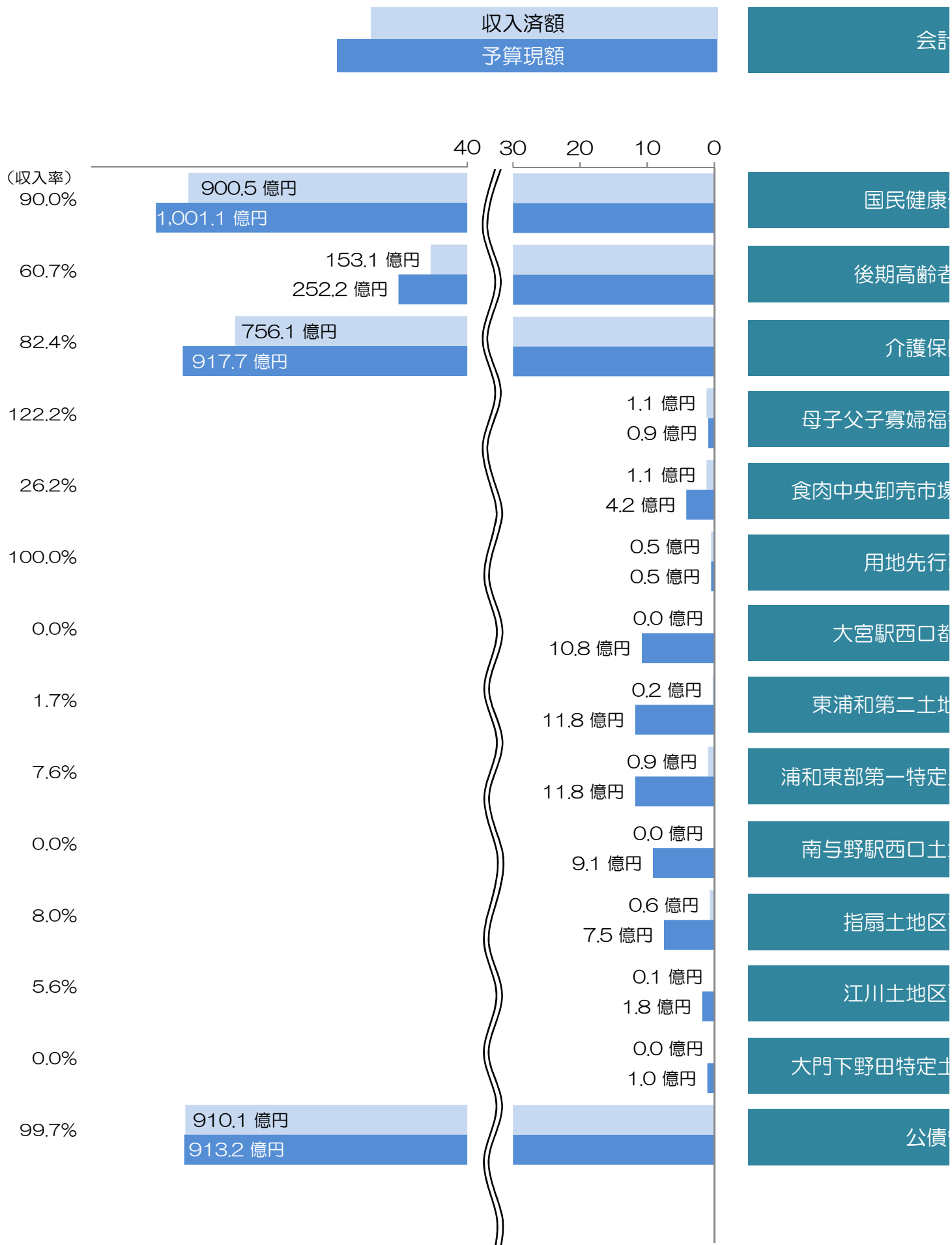
歳入 $\frac{\text{収入済額 } 6,501\text{億}1,873\text{万円}}{\text{予算現額 } 7,387\text{億}5,485\text{万円}} = \text{収入率 } 88.0\%$

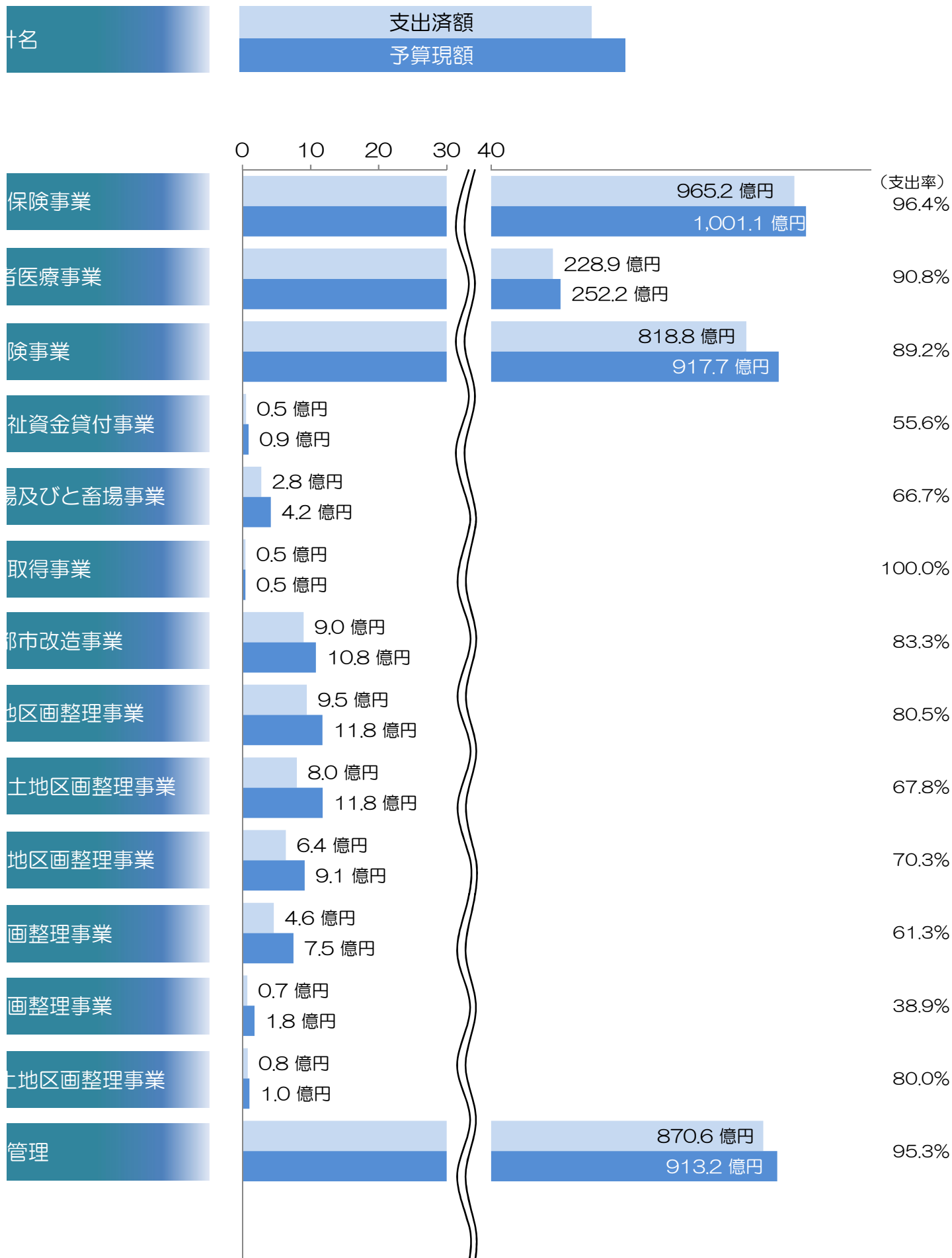


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 5,978\text{億}1,527\text{万円}}{\text{予算現額 } 7,387\text{億}5,485\text{万円}} = \text{支出率 } 80.9\%$



特別会計





3 令和2年度予算の使いみちと市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使いみち

1

民生費



164,115円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

556,421 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※令和3年4月1日現在の人口（1,327,691人）を基に算出（以下同様）。

2

商工費



141,329円

3

教育費



71,065円

4

土木費



51,301円

5

公債費



41,281円

6

総務費



37,694円

7

衛生費



33,274円

8

消防費



13,594円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

2,768円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

203,893 円

市民税



113,639円

固定資産税



66,067円

都市計画税

14,166円

市たばこ税

5,462円

事業所税

3,440円

軽自動車税


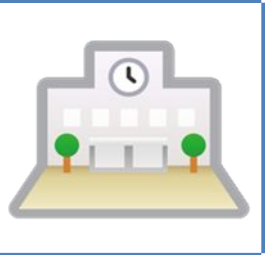

1,115円

その他

4円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産の現在高

土地	建物	基金
		
3,169万㎡	270万㎡	618億円

その他の財産

区分	令和2年度末現在高
立木	7,274㎡
物権	27万㎡
動産	なし
無体財産権	14件
有価証券	97億円
出資による権利	18億円
不動産の信託受益権	なし
物品	4,670点
債権	32億円

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

※基金の現在高（内訳）

- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金を積立て、必要に応じて取崩しを実施 227 億円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立て・取崩しを実施。 144 億円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立て・取崩しを実施。 247 億円

地方債の現在高

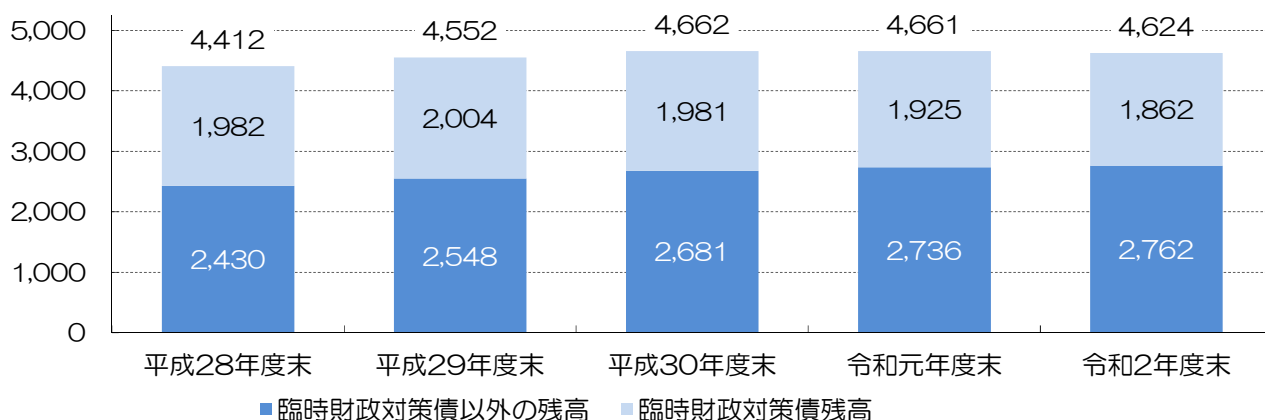
(単位：億円)

会計	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	
一般会計	4,412	4,552	4,662	4,661	4,624	
特別会計	139	130	120	103	86	
企業会計	水道事業	536	514	480	445	429
	病院事業	29	47	83	341	333
	下水道事業	1,800	1,808	1,812	1,806	1,801
合計	6,917	7,051	7,157	7,357	7,273	

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

(参考) 地方債の現在高の推移（一般会計）

(単位：億円)



一時借入金の現在高

令和2年度上半期に引き続き、令和2年度下半期における借入れはなく、令和2年度末の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 企業会計の状況

水道事業

現在、本市の人口は増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、併せて給水収益も減少していくと推測されます。

一方で、水道施設や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、災害時においても安定した給水を行うため、耐震化対策を推進する必要性があり、これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

このような状況に対応するため、将来の人口減少に伴う水需要の減少を踏まえ、財政とバランスの取れた施設整備を行い、効率かつ効果的な事業運営を推進する必要があります。

令和3年度当初予算の概要

当初予算額 47,572,487千円

(主な事業) (単位：千円)

水道施設整備事業 11,356,186

水道水の安定供給を図るため施設整備を推進します。

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域の基幹病院として、地域医療における中核的な役割を果たしていますが、救急・周産期・感染症・災害等の不採算・特殊部門に係る医療の多くを公立病院が担っている中、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。

このような状況の下、医療機能の拡充・強化を行ったさいたま市立病院では、市民が地域の中で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」として、安定した医療提供体制を維持するため、中期経営計画に基づき、医療機能の充実と健全な経営基盤の確立を図ります。

令和3年度当初予算の概要

当初予算額 28,439,949千円

(主な事業) (単位：千円)

市立病院医療機器等整備事業 286,768

質の高い医療の提供及び病院機能の拡充のため、医療機器等を整備します。

下水道事業

自然災害への備えや下水道施設の老朽化による事故を未然に防止し、豊かな自然環境や快適な生活環境を創りつづけていくため、主要事業である下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業、下水道汚水事業を推進していきます。

また、令和3年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画（計画期間 令和3年度から令和7年度まで）」に基づき、市民・企業に安定的・継続的に下水道サービスを提供するため、現行使用料水準を維持しつつ、下水道事業の健全な経営を維持していきます。

令和3年度当初予算の概要

当初予算額 48,950,831千円

(主な事業) (単位：千円)

下水道浸水対策事業 3,427,097

浸水被害の軽減を目的とした雨水管及び雨水貯留施設等の整備を推進します。

下水道施設老朽化対策事業 2,522,400

老朽化した下水道施設について、予防保全の観点から計画的な改築を進めるとともに、緊急輸送道路下の重要な下水道管等の耐震化を推進します。

下水道汚水事業 3,062,520

合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進します。

令和2年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	223,987,380
(1) 固定資産	205,642,591
(2) 流動資産	18,344,789
負債	81,507,190
(1) 固定負債	41,124,012
(2) 流動負債	11,790,346
(3) 繰延収益	28,592,832
資本	137,680,011
(1) 資本金	129,755,596
(2) 剰余金	7,924,415
収益	30,508,832
うち営業収益	29,146,934
費用	25,708,653
うち営業費用	24,846,548

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	33,393,185	98.0%	27,525,569	93.6%
資本的収支	3,521,711	92.4%	17,566,244	75.3%

事業の概況 (令和2年度下半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
給水件数	616,125	623,234	101.2%
給水量 (m ³)	66,437,200	68,086,490	102.5%
一日平均給水量 (m ³)	363,044	374,102	103.0%

令和2年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	48,316,056
(1) 固定資産	40,945,144
(2) 流動資産	7,370,912
負債	41,367,842
(1) 固定負債	35,887,937
(2) 流動負債	4,704,092
(3) 繰延収益	775,813
資本	6,871,490
(1) 資本金	8,872,230
(2) 剰余金	-2,000,740
収益	22,919,914
うち医業収益	17,110,006
費用	22,843,190
うち医業費用	21,563,684

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	22,941,099	105.7%	22,878,354	95.3%
資本的収支	888,761	109.9%	1,931,839	99.6%

事業の概況 (令和2年度下半期)

項目	前年同期	当期	対前年度	
病床数	637	637	100.0%	
入院患者数	一般病床	76,886	85,150	110.7%
	結核・精神	1,382	2,695	195.0%
一日平均入院患者数	一般病床	420.1	467.9	111.4%
	結核・精神	7.6	14.8	194.7%
外来患者数	109,339	120,695	110.4%	
一日平均外来患者数	918.8	997.5	108.6%	

令和2年度計理の概況 (単位：千円)

科目	金額
資産	419,655,266
(1) 固定資産	409,277,227
(2) 流動資産	10,378,039
負債	283,913,784
(1) 固定負債	168,823,524
(2) 流動負債	15,332,420
(3) 繰延収益	99,757,840
資本	135,741,482
(1) 資本金	131,056,472
(2) 剰余金	4,685,010
収益	24,513,220
うち営業収益	21,272,085
費用	23,693,086
うち営業費用	21,110,806

(単位：千円)

	収入		支出	
	執行額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	26,193,611	100.6%	24,460,762	98.2%
資本的収支	13,083,600	72.9%	24,353,031	78.9%

事業の概況 (令和2年度下半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
污水处理戸数	529,358	539,976	102.0%
污水处理水量 (m ³)	71,898,728	69,937,166	97.3%
一日平均污水处理水量 (m ³)	392,889	384,270	97.8%

Anniversary
20th
のびのび
のびのび
シティ

ありがとう20周年
ともに未来へ

さいたま市



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は71円（概算）です。

令和3年6月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154
FAX 048-829-1974